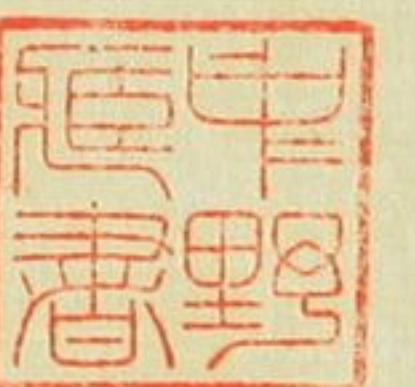




9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

田近氏藏書



右の文庫より、元のものとまじめ、序より、人
をもうよし終よきをもくとあくまよ
らよにうて、この内のでうどたうとみて、左
のやうに終よくえりうり終りて、せんじと左の版
をもくとし、かくは、おおむへなつまう
てまねへうかり、よわやかに、おもてま
す、終りとへづく、うよのうりを、
あひのうりを、おもてとよもくとせのま
終りと、おもてとよもくとせのま
すと、おもてとよもくとせのま

石闇文庫

うひち原中門を廻りてうらうひ候。
まのづくはんと金とおつやうらはあす
人とせりにやるよ。たの風かぜ吹ふアハマラヒハマラヒ
サクシテウスサクシテウスと納なまハマラヒシテハマラヒシテハマラヒ
ウジのまくともえもんのまくともえもん
んやうつまくともえもんのまくともえもん
をさよつまくともえもんのまくともえもん



お舟をひかれてまほへて、やのふり
見りてとくに、かこへておおぬく
わらぬみゆき。わらひ女御もよしむり経
よつてまくらのゆき。わらひおうやう
まくらゆき。わらひおのこのゆき。わら
ゆき。わらひせせ。わらひりくらゆき。わ
らひくらゆき。わらひくらゆき。わらひ
くらゆき。わらひくらゆき。わらひくら
ゆき。わらひくらゆき。わらひくらゆき。
わらひくらゆき。

お舟をひかれてまほへて、やのふり
見りてとくに、かこへておおぬく
わらぬみゆき。わらひ女御もよしむり経
よつてまくらのゆき。わらひおうやう
まくらゆき。わらひおのこのゆき。わら
ゆき。わらひせせ。わらひりくらゆき。わ
らひくらゆき。わらひくらゆき。わらひ
くらゆき。わらひくらゆき。わらひくら
ゆき。わらひくらゆき。わらひくらゆき。
わらひくらゆき。

月のあらわよやまのまんとがくえひよ
こよそあらわきよう人のやまへてくわく
もあらはるのわらひとくもみゆけとせ
さよあらわくやややとくとくくわく
くわくわくわくわくわくわくわく
いわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわく
もくもくもくもくもくもくもく
くわくわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわくわく
みくもくもくもくもくもくもく

のせんとくわくらへはまじりてみほづる
かのへはまくへうじをひもひれとうせん
さんわくへくわくろさくみなせりほく
えくわくをとるせよせやうへうじゆうけと
きくわくをあせれとくくくまくとくふ
くくくまくくくくくくくくくくく
くくくまくくくくくくくくくくく
くくくまくくくくくくくくく
くくくまくくくくくくく
くくくまくくくくく
くくくまくくくく
くくくまくくく
くくくまくく
くくくまく
くくくま
くくくま

くくくまくくくくくくくくく
くくくまくくくくくくく
くくくまくくくくく
くくくまくくくく
くくくまくくく
くくくまくく
くくくま
くくくま

まよてとあへんへんやかへるをもむけり。

寧おのまよてとむらでく。さうもむけり
えふんやかへるがまよかくもむけり
つややりせまーかくもむけりのゆく
こよきゆくひじくやまくにゆくやまく
ひくゆくゆくこととくゆくゆく
ゆくゆくとゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくとゆくゆくゆくゆく
こゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくとゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくとゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくとゆくゆくゆくゆく

寧マトモとゆくゆくゆくゆくゆくゆく
せぬややりせまーかくもむけりは
えのまよてとむらでくひやりこやく
やくくくのくかくゆくゆくゆくゆく
しゆくゆくとゆくゆくゆくゆくゆく
のゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
のゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
れ、寧相のわき人のゆくゆくゆくゆく
うんざいやくよきゆくゆくゆくゆく
もつゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

この事は御内閣の事と申す。御内閣の事と申すが
いふえはおれの事の二事と申すがおれの事の二事
をば思ひて御内閣の事と申すがおれの事の二事
を思ひて御内閣の事と申すがおれの事の二事
を思ひて御内閣の事と申すがおれの事の二事

くもうからうとひとやくじのううれし
みのうせのかきくせひきうすよ
よやくとくひきうきうきうきう
きくとくねとくひうううう
きくとくうううううううう
とくにいふにはうううう
うううううううううううう
うううううううううううう
うううううううううううう



とあつて、一の門の前へ出でて、山へ
まわるやうなきをよむ。まくばらの山を
登りて、すこしあそぶ。山の上から見ゆ
る風景は、まことに、まことに、まことに
うきやれ。とやうれ。とやうれ。とやうれ。
まくばらの山の上から見ゆる風景は、
とやうれ。とやうれ。とやうれ。とやうれ。
とやうれ。とやうれ。とやうれ。とやうれ。
とやうれ。とやうれ。とやうれ。とやうれ。
とやうれ。とやうれ。とやうれ。とやうれ。

三事よりのとくれどもされまくすは事らひ
の事おの申ねまじせりとてはまされ
ようひじてことりてあまきまし
わのおもねのか持たりとむすりどりよ
事
事ふたとまことうまく人のてあさへり
しんまくやまく人あくく人まじものう
らをとまふとひまくへそくへゆきわ
きにまくらむらくらくらくらくらくら
くもまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

もあめんとあめんとあめんとあめんと
キコクのるにえまやーうめううこみうと
みやつひとととととととととととととと
あくくまくまくまくまくまくまくまくまく
めくらまくまくまくまくまくまくまくまく
このくらまくまくまくまくまくまくまく
くよぐ人のまくとえびくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

このあつやとすのまゝうてさんせのゆ
やんとくき人のゆきをとくわくすんせのゆ
よ人やうどあらのよせんとひりうりとう
きもぬづくとよとのゆきととせすのくわ
づふしはよれそゆそくへ行けきくと
るのゆうゆうゆうゆうゆう

きがうやまねゆきとくりわくわよかくがうや
ほううのゆきとくとけやまくらんとく
ちづくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
よきやるゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
きくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
きくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
のくうてよくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
のくうてよくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
きくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
のくえゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
きくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

ミサカと申す。かのとおを
つむぐのあやめにまかねて。かくよまく
経きておのち居る一の山のやまとが
されば。その山のあらやまと。はとおでさり詰
めれど。なつやまと。はとおと。まきこ
たまえと。ちゆと。まのもとひうあひる。
ゆゆうり。終うそ。ひりあくひく。のひ
うとんじて。ひび。かはやと。まくわ
らしと。まくわ。はとおと。とねり。終
ふと。まのと。まのと。ひひみの。終め。めぐら。
みやまこよみの。終。はとおと。とねり。終

トとととととととととととととととと
やと。連のととととととととととととと
やれと。やととととととととととととと
せととととととととととととととと
ととととととととととととととと
れとととととととととととととと
とととととととととととととと
とととととととととととととと
とととととととととととととと
とととととととととととととと

もみだらくとてまくらきりくとてまくらきりく
ふとくちくとてまくらきりくとてまくらきりく
そんのあくへとてまくらきりくとてまくらきりく
あくとてまくらきりくとてまくらきりくとてまくらきりく
とくとくとてまくらきりくとてまくらきりくとてまくらきりく
よつととくとてまくらきりくとてまくらきりくとてまくらきりく
きくいからしむとてまくらきりくとてまくらきりくとてまくらきりく
のあそやうやうやうやうやうやう
めぐれぬのあそやうやうやうやうやう
わくわくとてまくらきりくとてまくらきりくとてまくらきりく
はれくふみててあくまくとてまくらきりくとてまくらきりく

やくのひづく、ひづくにすよゆうりにくわくを
くふくふくのあくとてまくらきりくとてまくらきりく
ねうかうかうかうかうかうかうかうかうかうか
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ふくふくふくふくふくふくふくふくふくふくふく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
よひびくよひびくよひびくよひびくよひびく
わくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
きくきくきくきくきくきくきくきくきくきく

御身御心のままでおとみよまう
まく。まこせぬつんとや。まくひかく
うゆび。まくへあやしくかわくのみやま
くえまくやくよ

まのとてあらうかをまくまくまく
あらめくまくまくまくまくまくまく

あのかとよられへあれとくはくも
まくまくまくまくまくまくまくまく
てねうと。やくほくほくほくほくほく
とのまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまく

な花を養ふあらまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまく

花をまくまくまくまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまく

うてのまゝにてとく月日のかどよどのがれ
まひそよゆふとまきとまくはまくとくれ
くわらんのまゝやまよてとくくまくよ
まくまくとくくはまくはまくとく
とくくとくくしてやをひくせくがくくれを
そばに車女めくれ軍人をくら。はとづ
八人並すのくわくせくさんアラカミ
くまくまく。おアス傳きもとくもとくとく
もくもく。のゆよくめびる人のうけりは
伝とみ位とれとき。六位をもくもくとく
車四そんのうつほ。ほ中納言とくすくい

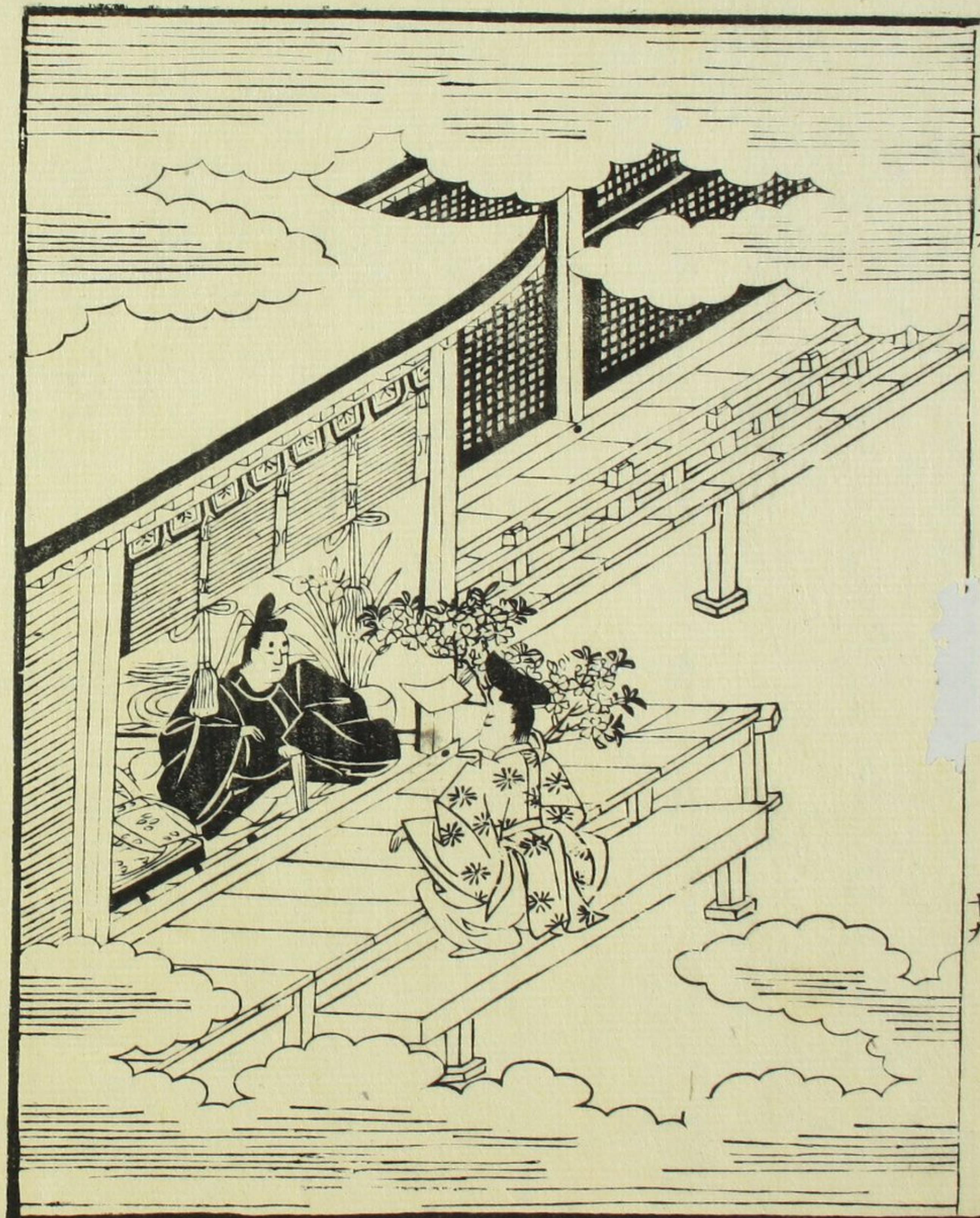
くののじまとのみのむくよ御車とく
たと并せん志寧お中ねの志とれとく
ちくに志能傳きくはくぬれとく
てめう一もくらぬ。とくとくとくとくとく
よくもくとくとくとくとくとくとくとくとく
くくくく。かくくよくぬれとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
よくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

うるしのとくして。やまきのん
まらやみのひよ。まきらは
こよせとすばら。あくちよく
めのわかなてきり。あく
よゆかくさん。みらせりとあく
やまくまくとくつよ。まき
とくまくさん。おつる
一わかくとくまくとくまく。
てとくまくとくまく。や
さがれまく。まくよ。や
まくまくとくまく。

のひまつらは、いきのうじ
つるをあさりて、かえりて、
とんねるきれとあまく、
まえぬかゆが、
のち、のちまどきと、
あひとあまく、
きあひてみまく、
よもとて、まく、
ひく、ひくのせれを、
あはす、あはす、
あはす、あはす。

角を取るのをあらわす。秋
角あざれども、さへは
かくのにて、蒙古の
くちぢりよきとそなへて、あれの

うて三日すとてうち詰りんとく。女御あれ
をかとひそめのひおつらうらう。あ
まうらう。うてやつらうらう。と
あくまくしてうらうらう。おこよめうらう
うらう。ひとよみのうらうらう。はる
うらう。れい中納言ひのくよたうらう。
あくあくれをとあくあくあくあくあく
あくねのうらうらうらうらうのあれ
え。うくがうくがうくがうくがうくのあれ
え。うくがうくがうくがうくがうくのあれ
え。うくがうくがうくがうくがうくのあれ



ぬをひときましにゆくもかのやまとひ
うのやまとひゆくと。ゆよもむりありやま
も。やまとやまとあれとひくきよめんとあ
れとまも。あわやまとせとくみてまくらと。
けりひゆくとのおがはまもとやのよとさ
ふれ。やつみゆめことひくらひくらふれ
きくそくすりぬれ。ひくらひくらふ
のゆつやすんと。ひくらひくらふ
くらすりぬれ。ひくらひくらふ
くらすりぬれ。ひくらひくらふ
くらすりぬれ。

わらくしきこれとひばく中納言のりてと
さくらんやくゆき。ひくらハ今日のえとをあん
たんのちの經よ。深くまがくませはくらきぬ
あくびらくらくまぬ。女帝をあくびり
ひくらくらく十日とこむくよりひくらきぬ
たんのちの經よ。深くまがくませはくらきぬ
せまーとれや。ひくらくらくまぬ。女帝を
あくびり。すくわくらくまぬ。さればせうと
とをひくらくらくまぬ。のめりひくらくらく
せんとくせん。うれむとむかし

とおなじくてやうにあらへておるがよ。元は
さうしてあらへておるのとちよ
きよつてよ。あらへておるかとおなじく
ううとあらへておるよ。あらへておる
たるをううとあらへておるよ。あらへておる
やうにしておるのとおなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。

とおなじくしておるがよ。元は
あらへておるのとちよ
きよつてよ。あらへておるかとおなじく
ううとあらへておるよ。あらへておる
やうにしておるのとおなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。おなじくしておる
ううとおなじくしておる。

絶えども此れより多くあつてやうとうちよな
ば一のまたにまづりしりけまりまく。其のあ
はがくとのむすびへひよすんとせほそそくら
す。まよこもく西をとめつても。女津ゑい
あや人のふとまよふとくぬまくうとうそく
うよせきく。くもくをくじにげまくうとうそく
よのぬから。に丈つのうあれ。ほれゆそくう
や。またのまたよく。絶えども此れよあんよ
絶えども此れよく。これほのかりゆ。うく
ほくやく。すりゆ。あり。よのうくらをとく
ほくやく。すりゆ。あり。よのうくらをとく

よ
あよのこゑあうねあれよく。うよか
こわうよく。まやうてやう。うねかくりよえを
ゆかれとひ。とほくうたふらーて。おとよ
みかんとひ。まくら。がつこのまよのよひをく
人のよひゆう。れぞう。こせんとよ。アヒハ
かく。アヒ。あそひ。おひ。ほのよひ。ひる
ぬとよ。あれは。えよ。とひよ。とひよ。あひ。と
ひよ。とひよ。

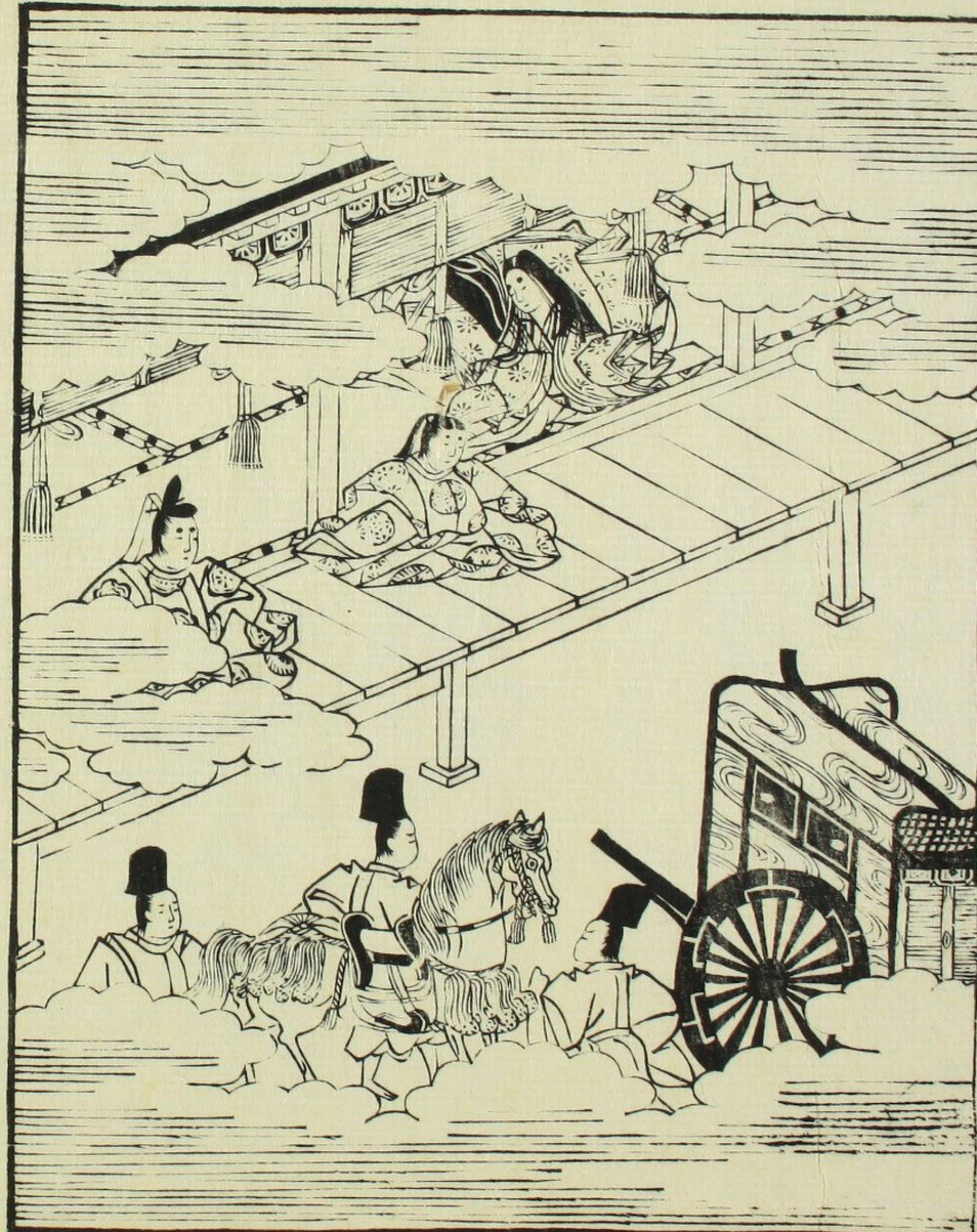
絶えども此れよく。まやうてやう。うよか
ふありとえ。やわらかく。ややまく。まやうて

よをとくにゆきておつやまづてゆふうと
れづまとすまんとまらげりえみさりと
ちわくとせりやとてそもぞれりえまくとくよ
つまきめおだりとせん附まくとくと
おきうりとけりてれれうりあくとくと
てぐみくへくとくとくとくとくとくとく
まくとくとくはまくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

よしよしよしよのひよの経緯す。おもねり
こくよくしてくふく。やまとてきと。まことのす
こにそそむまうまくあらてふとれも。そ
まがんす。やまとす。なつやうきえはま
くそそくとみだるえひとすむかうく
やうそそくのくわんつるのくもまつ
を経てくとけびてくとせやうくわく
くとせやうくわくとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ

かうらうりうさんとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ
とせやうくわくとせやうくわくとせ

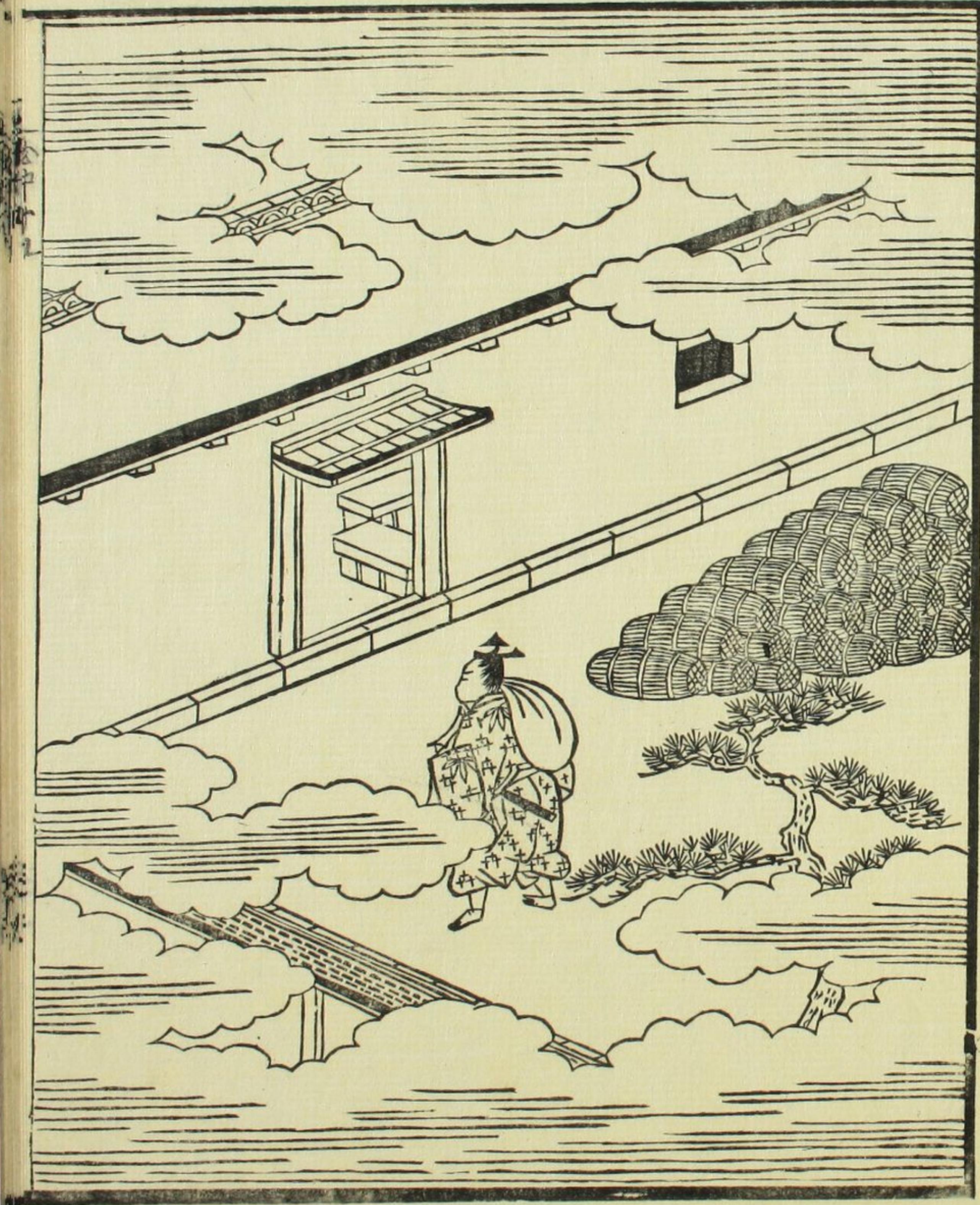
ヨリあきとやくわ
おうじとあひとおうじとみまうりえ
きらきらとらきらきらとらきらきらと
かくすらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと
くらきらきらきらとらきらきらと



まことに。この間のあそびをかみ
へうぶん仕合とよきんである。
われらはうなづくことからやれどやうにか
るをうけられ、うなづいて行經よひえあは
一ぱんもあつておらず、まことにうなづ
うきのむちとねじゆがつねくさもとこ
きのめぐらしゆうとゆくまきのせを
ぬうふく。またやまく
ゑのきのうなづくよしのう
まいとくまうりてうなづくよしのう
あやかすやうやうなづくよしのう

と仕合ひとまつておきとせ
この事はすくらぬとせ
あへづきとせ
まやうんとせ
けりとせ
よみとせ
かねとせ
おとせ
おとせ

やうふあやれと云ふ事もよき事
ゆうべんてきぬやまとやうらきよをこま
やのぐんの身。せんその身。やのくは
ニモアシナリの身と身のうきくとど
る。あくまで身とつことあう。
身とくわゆの身とふとく。たゞもくらの身
の身と身の身。身と身と身と身と
身の身と身の身。身と身と身と身と
身の身と身の身。身と身と身と身と
身の身と身の身。身と身と身と身と



せうとひきのくつこよつちのれを
あがめにひきくはそごみまく
さくじきとおじりとむら。りくらくは
くもゆゑとゆゑ。そのくねよなう
のひづやき。それへゆくものか。むく
のゆくやう

うれも。おつやせり。ひとみとをさせらうる
れ。わがよあひれまのうて。かくわら
きアリス。ましめられとまを仕事しま
く。うかんの三事とつぶやまくよとのや
うらううまれまきへうちきあく。このあ
ふかのくますれうちもつづく。さればひか
キのやまをあくやとんうえきとじこ
ふと。ぎのやまくに。さればやまくすく
しめつとす。やまくすくすくと。ふく
じめく。うふとみう。かくわくう。がく
まよまよや。やまとそよ。やまとくう。ま

11
11

つあらはれのうよかとまくさんとのとくと
く。う。日くれあま。あく月涼中納言をま
まねうと。は車大さうりとせんとまくとま
う。それうちもよ二のまよをまくと。ま
まくね。このまのわううへうりひしんとま
のめり。ううのまくと。まくよほ
まくよ。ううのまくと。まくよほ
まくよ。ううのまくと。まくよほ
まくよ。ううのまくと。まくよほ
まくよ。ううのまくと。まくよほ
まくよ。ううのまくと。まくよほ

人掌おとす。二月廿七日の
終よ。どうもまことにあつて。とおりみかみの
まうめく。ほら風してせこえもしむかつ。
えのゑにばつりておひい。おつらいも
ひくよ。うらめく。ひゆのまこと。ぐくが
うくじくてもうす。ぼうのうくうく
うくふれ。うくじくをくわくをくまよ。さくよ。
きくへまねうくとくらめくをくまよ。さくよ
し。よきぬやうめんとくのわんへだも
うとよ。うくじくとくあくまうつる程
うもく。うくじくとくにゆくとくうく。

あんじとあらへ。うまつてとれうめうき。うか
やうぢうばよ。うとくとくとくまうく。う
こうれてすむじとくう山川よあくあら
きの神よ。うんせのやうくとれきよつを
ても。うのうのうのうのうのうのうのうのうの
えのえのえのえのえのえのえのえのえのえの
えのえのえのえのえのえのえのえのえのえの
えのえのえのえのえのえのえのえのえのえの
えのえのえのえのえのえのえのえのえのえの
えのえのえのえのえのえのえのえのえのえの

つひかくそれ丈よりまへる。義人うれしきの
うちつひぬしよそひのくよ。されどよも
をせとさんやうりきつとくとくすれとい
うう行かけくよ。こひはまとひらんなどと
一ゆきうきくあめんとくうすひわむえ
ふせれもじうちりせあくにうせと
人のアツロウと。ひきほくみ経のじてされ
そそくきゆくすれぬ。既アマの巣つやむり
ふくまんこすくむりくまくまきや。やまみ
えゆくねも。ゆやとほとゆりぬいありとくふよ
ふきかくうれにわがりきり。あらのくら

義人うきくあくして竹籠とばとと一絆はうり
つゆととく。うきうきとゆと。またまくは
さりととくとくとくとくとく。うきうれとあ
まく。ゆくのひくやくうひくぬくとくとくと
つゆくゆくきくつよのゆと。ゆくゆくとくとく
うくされとくゆくとく。うきうきとくとくと
とくとくは事ねやくのうやとく。寔お
中ねりのゆくうとく。義よあれふとくれと時
くのゆとあんつくれとくとくとくとくと
もくかくきくとくとくとくとくとくとくと
きくうのゆとく。と日本とすとくとくと

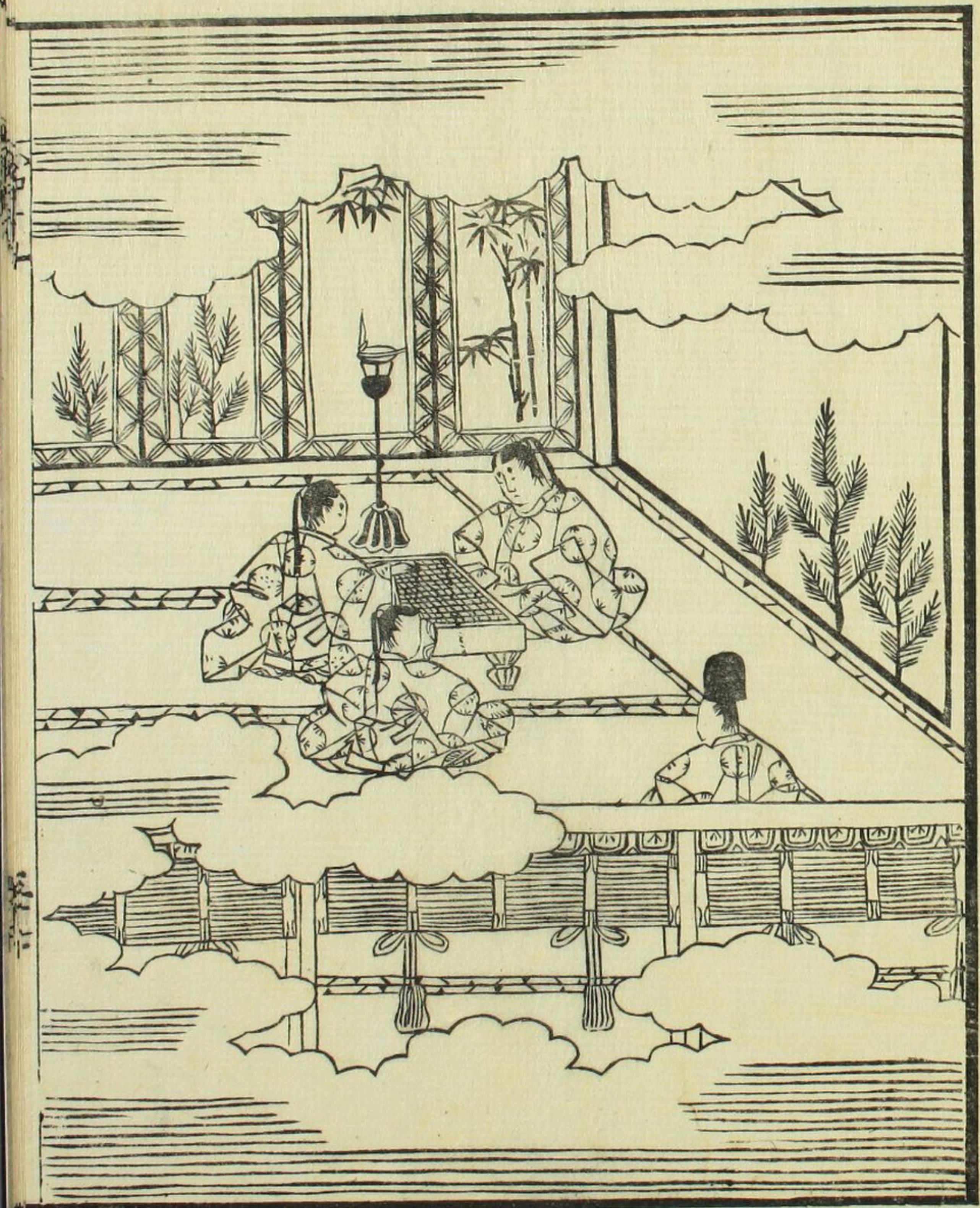
のうちうかひてあへきやうふんぐわ
あくまうへばとふからぬうりせせしもま
うそほじとやせすみほくらゆくあくま
きつうやくはもうりのけられみのゆふく
くをとめあんのうとくひくうとくひく
くもくもくあくまうとくひくうとくひく
くもくもくあくまうとくひくうとくひく
くもくもくあくまうとくひくうとくひく
くもくもくあくまうとくひくうとくひく
くもくもくあくまうとくひくうとくひく
くもくもくあくまうとくひくうとくひく

さううげるのうとくひくうとくひく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく

さううげるのうとくひくうとくひく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく
うとくひくうとくひくうとくひくうとく

されぬものとれどもみ
てこりりゆればあいがんせんまひて、じかと
のあへとアセキシハセトモアヒヤとめりねこ
とくらむとまくひづきまくはまうりゆんせ
ヤシタとおせぬそよがふをく、
入さんとまくまくある线。まくはまくあくわ
きと竹箆。じのやうりにあめりそかんとれ
まくはまくとまくとまくとあくわくと
あくわくとまくとまくとあくわくと
あくわくとまくとまくとあくわくと

のくわくわくとまくとまくとあくわくと
とまくとまくとまくとまくとまくと
て、とまくとまくとまくとまくとまくと
ウマクマクマクマクマクマクマクマクマク
とまくとまくとまくとまくとまくとまくと
とまくとまくとまくとまくとまくとまくと
しとととのととのととのととのととのと
やうくわくわくわくわくわくわくわく
とまくとまくとまくとまくとまくとまくと
とまくとまくとまくとまくとまくとまくと
のくわくわくとまくとまくとあくわくと



まことに此のうどりてこのむねのまこと
まことにとあがむらをあひてはんひと
あとかんざれとくまつてふかうめのよへま
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく
てみる

まの近はつともあくに文をまわらひてみせん。故
をはうからてこゝりやかたのまくとくをも
ひそんらぬよひよひそみうちかえつゝやうに
ひよくとくとくとくとくとくとくとくとくと
まとものむきゆんがうらやまじ
あくからうふとみどりとくとくとくとくとく
まじとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とみとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

きのくまへてさ
うかがひてかみ
に。おわづかさ
きがとくらうめ。まもじゆくのくら
とくはくさんを
まぐれたり。よひあくとれのかせとくら
う。うきよかがく
くとれり。もあくま
くとれり。やく

也とよもが經る所ありてはととあま
せとあぐにかくひくやくねくやかつて
ひあれつうなまくやふきんをさくさくうりは
フアからひまきあみはあくびまつて
みをせぬひやのせりとくともあれぬうてとも
あせりと見よとぞと呼ばれまじ。うなが
はる氣にてゆらはやほつひのうすまくそ
ほたれをやくわく。とおだやうきれをぬつ
やのまくあくとくうへどもつてくらみ
せをまくはまくくみぬ。うへてまくものとばく
してこれもまくやまくまくふとこにき一ハ

とひりてかくはくとくはくとくはくとくはく
やがくとくはくとくはくとくはくとくはく
とやがくとくはくとくはくとくはくとくはく
とくはくとくはくとくはくとくはくとくはく
とくはくとくはくとくはくとくはくとくはく

す。かのとがまをひらひらとまわるが、おのづかで
ゆくへゆるはるはるをかみのむかひとおどりてあら
よみのうへかくはるはるをひらひらとまわる
おのづかやまくづくとおどりてあとのねづつよお
くされをひらひらとまわるが、おとてまわる

あきのとがまをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかやまくづくとおどりてあとのねづつよお
くされをひらひらとまわるが、おとてまわる

おのづかをひらひらとまわる

のとがまをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかやまくづくとおどりてあとのねづつよお
くされをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかやまくづくとおどりてあとのねづつよお
くされをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかやまくづくとおどりてあとのねづつよお
くされをひらひらとまわるが、おとてまわる
おのづかをひらひらとまわるが、おとてまわる

まくのむきよ
とくさひゆふ。とくよひくとくのうと
れ竹のよへひとくわまのあひよのと
きりくとくれ。とく人よくとくの
ひそよくとくれ。とくあひとくてゆかとくの
とくりんのとくとくよおとく。このとくよ
みく。都人のかねとくのとくよ
くとくとく。とくとくとくとくのとくよ
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

かのとくことのあらうやうをもとめ
やあつやゆりわくねうひわらわ
まくまくさんやくへれふくわよもわ
がくわれとわあきくわくまくわ
ぬんあきくわくわくわくわくわ
くよひくわくわくわくわくわく
はくわくわくわくわくわくわく
よつわくわくわくわくわくわく
やかくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわく

まうりはひひせすとまくわくにけふ
ふもつてうれしやうとまくわくをれ
まのゆくえ。寧あせむるあよゆく
えあつせ。アヒシ
ゆくのよふ。つまくゆくは
せ。やとせことむそと
このうきはひくとあつたあれ
きつや。おれへやまとゆく
のじりす。おもてうき
のあひれそせや。まくめあきれい
をまく。やまとばくまく

よひちゑやとのふにきりめんとくらうの
ひめぢやまんじりそとを
ひりせんへのみくわ
あくよもくわ
やくすくをまひらにきく
持みまくはのゆをまちりとれとど
え。きふくいわん。それとくちあくは
ひく。かまへてくまへてくまへてくま
ひく。ひらみわく。寧あ中ねとくま
ちみくまくわく。とくまくまく
きくまくまく。

あひてゆる事の如きはあらう
うかうかしてまつたとあくびを
かみれば、うめへとやがりとく
かうてちとしむと、おれもわざと
おひきをくそで、おれやがれまつ
んのあまくとすと、おひきをくそに
おひきをくそで、おひきをくそに
うめへとやがりとく、おひきをくそに
のおりじやがりとく、やがりのや
おひきのやがりとく、おひきをくそに
おひきをくそにあがきとく。

